

令和6年度  
第2回東京都渋滞対策推進会議幹事会

令和6年10月30日（水）

東京都庁第一本庁舎 19階 19D会議室

午後 3 時 00 分 開会

○ 事務局員（和田課長代理）

それでは、お時間となりましたので、開始させていただきます。

本日は大変お忙しい中ご参加いただきまして、誠にありがとうございます。これより令和 6 年度第 2 回東京都渋滞対策推進会議幹事会を開催いたします。本日の司会進行を務めさせていただきます東京都生活文化スポーツ局都民安全推進部の和田です。どうぞよろしくお願いいたします。

開催に先立ちまして、注意事項を 2 点申し上げます。

まず 1 点目です。会議中に発言する場合は除きまして、マイクをオフにしてください。ご質問等がある場合には挙手機能によりお知らせください。事務局に指名された後、マイクをオンにさせていただいてご発言をお願いいたします。

次に 2 点目です。本会議は議事録の作成のため、Teams の機能を使用してレコーディング及び文字起こしを行います。予めご了承ください。

それでは、議事に入ります前に、幹事会の座長を務めます都民安全推進部交通安全担当課長の山口よりご挨拶を申し上げます。よろしくお願いいたします。

○ 山口都民安全推進部交通安全担当課長

本日はお忙しい中、ご参加いただきありがとうございます。生活文化スポーツ局都民安全推進部交通安全担当課長の山口です。

5 月に実施いたしました第 1 回幹事会では、今年度における各局の事業計画を伺いましたが、早いものであれから半年が経とうとしており、本日に至るまでの間、皆様方が各自で取組を実施していただいていることに関し御礼申し上げます。

さて、本日の幹事会では 2 つの内容について情報共有いたします。

1 点目は、東京都の普及啓発活動につきまして、渋滞緩和に向けた広報活動に関するご報告をいたします。

2 点目は、日本道路交通情報センターさんから大規模イベント時の道路交通情報提供のあり方についてご講義を賜ります。

皆様方の渋滞対策の参考にしていただければ幸いです。

今年度の渋滞対策推進会議は、今回で最後になりますが、本会議などの場を有効活用いたしまして、皆様方のご協力をいただきながら有効な対策を継続していただきたいと思っておりますので、年末、年度末にかけて業務も一層多忙となることとは存じますが、引き続きご理解を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

○ 事務局員（和田課長代理）

ありがとうございました。それでは、会議に移らせていただきます。

まず初めに、次第1の東京都の普及啓発活動について、3点中間報告をいたします。生活文化スポーツ局坂本課長、お願いいたします。

○ 坂本都民安全推進部連携担当課長

生活文化スポーツ局都民安全推進部坂本でございます。

では、生活文化スポーツ局から今年度の普及啓発活動について、現時点での状況をご紹介させていただきます。

現在スライドに映しております資料は、9月6日にプレス発表した資料と同様のものになります。

年度初めに実施しました東京都渋滞対策推進会議におきまして、今年度の普及啓発の重点期間をシルバーウィーク及び年末から年度末に合わせる計画である旨ご説明いたしまして、ご了承いただいております。

そのため、その事業計画に沿いまして、まず秋に実施したことを報告させていただきます。実際には8月から実施している活動もありますが、それを含めて報告いたします。

まず、1点目ですが、このインターネット広告についてでございます。

資料の右の真ん中部分です。ドライバーに向けて渋滞を減らす行動3箇条を呼びかけるに際して、8月9日から9月30日までの間、ヤフーディスプレイ広告において広告画面を掲出しました。

また、9月6日から10月4日までの間、ナビタイムのスマホ向け自動車ルート検索サイトにおきまして、東京都内を発着する検索をするとメッセージが表示され

るようにしました。

具体的には、バナーをクリックしたユーザーを、東京都生活文化スポーツ局の渋滞対策サイトに誘導しております。画面に写っているのが、実際にスマホで映し出されたバナーをスクリーンショットしたものでございます。こういった形で、利用者の方に啓発を行っております。

では、次に行きます。

2点目は、道路上の情報案内板での呼びかけです。

このプレス資料だと右下の部分でございます。9月16日から30日までの間、建設局様、東京国道事務所様、警視庁様が所有する情報板を活用し、路上で呼びかけを実施しました。関係者の皆様にはご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

3点目の活動ですが、スムーズ運転シミュレーターの活動についてでございます。

左枠の囲みの部分です。各種イベントに参加しましてスムーズ運転シミュレーターを活用し、来場者の方に、車間距離の確保やブレーキ操作等の渋滞緩和につながる運転方法をシミュレーターで体験してもらいました。

今年の秋は、9月15日に代々木公園で、あと9月28日に三鷹市役所で実施されたイベントに出展いたしまして、大変好評いただきました。実際、この開催時間は、体験者の列が途切れることがなく、ずっと体験してもらえたものとなっております。

ドキュメントで体験した方にアンケートを実施しまして、その中で、「これを体験したことで渋滞緩和につながる運転方法を実践しようと思いませんか」ということを聞いたところ、代々木公園のイベントでは約87%、三鷹市役所のイベントでは75%の方にぜひ実践しようと思うという回答をいただきまして、この関心の高さと、シミュレーターの効果というものを実感したところでございます。

代々木公園のイベントに関しては、環境局様にお声がけいただき、ご協力を得たことによって実施することができましたので、この場を借りて御礼を申し上げます。どうもありがとうございました。

これからも年末、年度末に向けて普及啓発活動を継続し、11月末には、またこういった形でプレス発表をしていきたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお

願いたします。

報告としては以上になります。

○ 事務局員（和田課長代理）

ありがとうございました。

生活文化スポーツ局からは以上となりますが、ここまでで何かご質問等はございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、続きまして、公益財団法人日本道路交通情報センター調査部の古頭様から、「大規模イベント時の道路交通情報提供のあり方」についてご講演をいただきたいと思っております。古頭様、どうぞよろしく願いたします。

○ 古頭講師

よろしく願いたします。画面を共有させていただきます。

皆様、本日は貴重なお時間をいただき、誠にありがとうございます。日本道路交通情報センター調査部の古頭と申します。

本日は、レジメの順番に従い、「大規模イベント時の道路交通情報提供のあり方」について、3本立てで説明をさせていただきたいと思っております。資料については、資料1に移らせていただきます。まず、1ページ目になります。

はじめに、当センターの概要紹介として、道路交通情報センターにおける情報収集の体制及び情報収集と提供の流れと、当センターが運営している道路交通情報提供サービス「道路交通情報 Now!!」についてご説明いたします。

道路交通情報 Now!!については、後程ご説明する大規模イベント時の道路交通情報提供のあり方にも登場いたします。

3ページに進みます。当センターでは、交通管理者の都道府県警察と道路管理者の国土交通省、道府県土木部、高速道路会社などの委託を受け、道路交通情報の収集・提供業務を行っております。全国133か所にセンター・駐在を配置しています。

4ページに進みます。各業務拠点において道路交通情報を一元的に集約し、この

情報を、電話、ラジオ、テレビ放送、インターネット、カーナビなど、様々な媒体を通じて、ドライバーをはじめ国民の皆様にお届けをしております。

5 ページに進みます。ここからは情報提供する媒体の一つである道路交通情報 Now!! のサービスについてご紹介をさせていただきます。

6 ページに進みます。道路交通情報 Now!! は、最新の道路交通情報について、インターネットを通じて 24 時間 365 日提供するプラットフォームになります。

特筆すべき点として、大規模災害時には災害時情報提供サービスを提供し、安全な道路利用のための特別な情報提供を行います。

では、実際のサービスの利用方法について順を追って説明をさせていただきます。

まず、道路交通情報 Now!! のトップページにアクセスし、道路交通情報を知りたい地方をクリックします。

次に具体的に知りたい県や高速道路を選択します。例えば、関東地方を選んで東京都を選択すると、東京都の道路交通情報が表示されます。

7 ページに進みます。選択した地域の道路交通情報は 2 種類の地図で確認ができます。

1 つ目は、高速道路図で JARTIC が作成した簡易図を使用しております。こちらでは、高速道路と都市高速道路の交通情報を確認できます。

2 つ目は、デジタル地図で、国土地理院刊行の電子地形図を使用しており、高速道路、都市高速道路、一般道路の交通情報を同一画面で確認できます。この機能により、広範囲の道路状況を一目で把握することができます。

8 ページに進みます。地図上に表示された情報をさらに詳しく知りたい場合、各アイコンや規制・渋滞を表すラインをクリックすることで、詳細情報がポップアップで表示されます。画面右端の判例表示切替で、高速道路のサービスエリアやパーキングエリアの満空情報も確認することができます。

このような直感的な操作で必要な情報にすぐにアクセスできる仕組みが整っております。

9 ページに進みます。道路交通情報 Now!! では地図による視覚的な情報提供に加えて、工事予定情報、冬季閉鎖情報などの文字情報も充実しています。さらに道路

画像情報も一覧で確認することができ、利用者の様々なニーズに対応しております。

10 ページに進みます。次に災害情報提供サービスについてご説明します。地震などの災害や豪雨、豪雪などの異常気象によって道路交通に著しい障害が発生した場合、このサービスが提供されます。

直近では、能登地方の大雨の際にも活用されました。災害時には通常の道路交通情報に加えて、通行実績情報の提供を行います。これは、警察庁及び複数の事業者から提供される実際の走行データをもとに、どの道路が通れたかを示す重要な情報になります。

さらに、通常時には提供されていない道路画像も全て公開するなど、情報提供を拡充しています。

また、首都直下地震等の大規模災害時には、東京都の火災情報も提供します。

これらの特別な情報提供により、災害時における安全な道路利用をサポートしています。

また、通行止め等の道路交通情報の障害をより確実に収集するために、人員体制も強化します。

資料1の説明は以上となります。

続いて資料2—1に移らせていただきます。

資料2—1「大規模イベント時の道路交通情報の提供のあり方」について、まず、概要から説明をさせていただきます。

令和3年の夏に行われた国際的なスポーツイベントでは、競技会場周辺や首都圏の高速道路などへの影響が予想されていました。そのため、当センターでは様々な取組を実施いたしました。

まず、ラジオ・テレビ放送を通じて交通規制について事前に周知を行いました。

さらに、イベント Web を改修し、道路交通情報の提供と併せて、競技情報や天気情報も掲載しました。

また、当初見込んでいた海外からの観客への対応として、多言語による情報提供も行いました。

これらの取組を通じて、大規模イベント時の道路交通情報提供において重要な要

素が見えてきました。

1つ目は、幅広い層への情報提供です。次に事前周知の重要性、そして、道路交通情報とイベント関連情報を組み合わせて提供することの重要性です。

ここで、興味深いデータをご紹介します。当センターの調査部が昨年度実施した道路交通情報需要実態調査によりますと、大規模イベント時にマイカーやレンタカーで訪れる方々が最も知りたいと考えている情報は、イベントのタイムスケジュールや場所でした。次いでイベント会場周辺の駐車場情報への関心が高くなっておりました。

こうしたことから、単なる交通情報だけでなく、イベントに関連する様々な情報へのニーズが高いことが分かりました。

それでは、これらの取組の詳細について、本編でご説明をさせていただきたいと思えます。本編については資料2-2になります。

1ページ目から説明をさせていただきます。令和3年の大規模スポーツイベントでは、様々な交通規制が実施されました。大会前のイベントリレーや開会式に伴う規制に加え、競技会場周辺の一般道路では数週間にわたる面的な交通規制が行われました。

また、首都高速道路では、7月上旬から8月上旬、そして8月下旬から9月上旬にかけて、日中の通行量を減らすためのロードプライシングが実施されました。これはマイカーなどについて、都内区間の日中料金を上乗せする一方で夜間の料金を引き下げるという取組でした。

2ページに進みます。このような状況の中、当センターでは様々な媒体を活用した情報提供を行いました。ラジオでは交通規制に関する広報を継続的に実施し、電話での問い合わせにも引き続き丁寧に対応いたしました。

既存の道路交通情報 Now!!では、交通規制情報の表示を強化し、さらに、イベント Web を大幅に改修して、よりきめの細かい情報提供を実現しました。

2番に進みます。インターネットを活用した取組として、道路交通情報 Now!!での工夫についてご説明いたします。

競技会場周辺では、従来の線的な交通規制に加えて面的な規制も行われました。

そこで、デジタル地図上でこれらの規制を視覚的に分かりやすく表示しました。画面上部ではテロップで規制情報を流し、さらに詳しい交通規制情報は文字リンクから PDF ファイルでも確認できるようにしました。これにより、利用者の方々は必要な情報に素早くアクセスできるように配慮しました。

3 ページに進みます。2-2 イベント Web です。イベント Web においては、競技会場のある 11 都道府県の情報を一括して表示しました。特に力を入れたのが、交通情報と競技関連情報の融合です。会場周辺の天気情報をリアルタイムで表示し、その日に行われる競技情報も毎日更新しました。また、選手の輸送ルートについても、実際の道路の線形に合わせて表示を行い、規制が行われる可能性のある区間を直感的に把握できるようにしました。

4 ページに進みます。イベント Web では、多言語での情報提供も実施しています。当初は成田国際空港を利用する海外からの観客を想定しまして、千葉県内の主要な高速道路を対象に、他国語での情報提供を実施しました。

具体的には、日本語、英語、中国語の繁体・簡体、そして韓国語になります。地図上にスピーカーマークを配置しまして、クリックすると各言語で最新の交通情報を音声で聞くことができます。文字での確認も可能です。様々な利用者のニーズに対応できるよう配慮いたしました。

これらの取組を検証してみますと、興味深い結果が見えてきました。

3 ページに戻ります。こちらのグラフになります。まず、道路交通情報 Now!! のページビュー数は平常時と比べて約 55% 増加しました。

5 ページのグラフに移ります。より顕著だったのがイベント Web で、平常時に比べてページビュー数が約 2160% 増加しました。

下のグラフに移ります。多言語による音声案内も、当時はコロナ禍で海外からの観客はいらっしゃいませんでしたが、平常時と比べて約 680% 増加がありました。

こちら右のグラフについては電話問い合わせになりますが、電話問い合わせについても約 195% 増加し、様々な手段で情報提供を求めるニーズがあることが分かりました。

最後のページのまとめに移らせていただきます。これらの経験から、大規模イベ

ント時の道路交通情報提供について重要な知見が得られました。

まず、幅広い層への情報提供です。JARTIC が過去に行った道路交通情報需要実態調査によれば、高齢層はラジオを通じた情報収集を好む一方、若年層はスマートフォンなどのモバイル端末や電話での問い合わせを活用する傾向があることが分かっています。

こうした傾向を踏まえ、テレビやラジオに加え、道路交通情報 Now!! やイベント Web、電話問い合わせ窓口など複数の媒体を効果的に組み合わせて、情報提供を行ったことで、幅広い世代の円滑な情報提供が実現出来たのではないかと考えています。

次に、事前周知の重要性です。特に今回のような大規模な交通規制やロードプライシングを実施する場合、十分な時間的余裕を持って情報提供することで、利用者の方々は移動計画を立てやすくなります。さらに、交通情報だけでなく、競技情報や天気情報などを組み合わせて提供することも重要であると考えられます。

また、当時はコロナ禍での開催となったため、十分に活用される機会はありませんでしたが、多言語での情報提供は、今後のインバウンド観光の回復を見据えると、更なる充実が求められると考えられております。

これらの知見は、今後予定されている大規模イベントでも活かしていけるものと考えています。引き続き、より使いやすく、より役立つ情報提供を目指して改善を重ねてまいりたいと思います。

以上で、JARTIC からの発表を終わります。ご静聴ありがとうございました。

○ 事務局員（和田課長代理）

古頭様、ありがとうございました。

ただいまの古頭様からご講演いただいた内容に関しまして、伺っておきたい点などがございましたら、挙手ボタンにてご発言をお願いいたします。いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、私から 1 点ご質問がございます。

令和3年夏の大規模スポーツイベントにおいて、JARTICさん初め、各関係機関が一体となって対策を行った結果、渋滞がほぼ発生しなかったという書類を見せていただきましたが、将来同じような大規模イベントであったり、特異なイベントが行われた場合、イベントWebなどのサイトを見てもらうための工夫であったり、また、新たな手法はございますでしょうか。

○ 古頭講師

JARTIC調査部の古頭です。回答させていただきます。

方法としては、SNSを活用した情報発信が挙げられると考えております。JARTIC調査部では、Xのアカウントを作成してまして、現在、約9万人のフォロワーに閲覧いただいております。

普段は工事やイベントに伴う通行止め等についてポストしています。令和3年夏の大規模スポーツイベント時には、調査部のアカウントからイベントWebの案内を投稿しました。

また、最近新たな動きとして、アベマからの依頼を受け、不定期ではありますが、アベマTVでの道路交通情報の提供を開始しました。

アベマTVは、ライブ放送に加えて、容易にアーカイブの閲覧ができる特徴がありまして、この放送内でイベントWebなどの案内ができれば、SNSと同様に、より多くの方にイベントWebなどのサイトを閲覧いただける可能性が広げられるのではないかと考えているところです。

回答は以上になります。

○ 事務局員（和田課長代理）

ありがとうございます。

SNS、X以外にも、アベマTVも活用されているということで、ありがとうございました。

我々としても、せっかくこのような経験をお持ちの方のお話を伺えたので、こういった情報を有効に活用しながら今後も対策を練っていきたいと思います。ありが

ありがとうございました。

○ 古頭講師

ありがとうございます。

○ 事務局員（和田課長代理）

それでは、以上で会議は終了となるわけですが、会議の内容にかかわらず、ご連絡等がある方がいらっしゃいましたら、この場でご発言いただければと思いますが、いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、以上で、令和6年度第2回東京都渋滞対策推進会議幹事会を終了いたします。本日は大変お忙しい中、ご参加いただきましてありがとうございました。

順次、右上の退室ボタンをクリックして退室していただいで結構でございます。

本日はありがとうございました。

午後3時30分 閉会